

製品名: USP22 (14R2) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe19668**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | 組換えウサギモノクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,FC |
| 反応性 | 人間 |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。 |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--------------------------------|
| 希釈倍率 | WB 1:1000-1:5000,FC 1:10-1:100 |
| 分子量 | 60kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | USP22 |
| 別名 | Deubiquitinating enzyme 22; Ubiquitin carboxyl terminal hydrolase 22; Usp22; USP3L; |
| 遺伝子 ID | 23326.0 |
| SwissProt ID | Q9UPT9 |
| 免疫原 | ヒト USP22 の合成ペプチド |

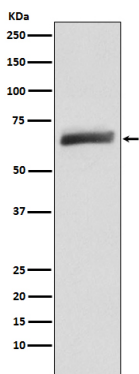
背景

転写制御ヒストンアセチル化 (HAT) 複合体 SAGA のヒストン脱ユビキチン化成分。ヒストン H2A および H2B の脱ユビキチン化を触媒し、コアクチベーターとして作用する。転写制御ヒストンアセチル化 (HAT) 複合体 SAGA のヒストン脱ユビキチン化成分。ヒストン H2A および H2B の脱ユビキチン化を触媒し、コアクチベーターとして作用する。MYC などの活性化因子によって特定の遺伝子プロモーターにリクルートされ、転写に必要となる。核内受容体を介した転写活性化および細胞周期の進行に必要である。

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



HeLa 細胞溶解物中の USP22 発現のウェスタン プロット分析。